

令和元(2019)年11月29日

第3学年保護者の皆様

札幌市立平岸中学校
校長 伊藤 公一

令和元(2019)年度 全国学力・学習状況調査結果について

晩秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から届いた調査結果をもとに、本校において、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、分析結果がまとまりましたので、その概要について別紙の通り保護者の皆様にお知らせするとともに、学校ホームページにも掲載をいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただけますようお願いいたします。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

全国学力・学習状況調査は、以下①・②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施されています。

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、数学、英語）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(4) 調査実施日 平成31(2019)年4月18日(木)

2 「教科に関する調査」結果

	本校の概要【区分および領域】	今回の調査における課題	改善の方向
国語	□「話すこと・聞くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同等であるが、やや下回っている。	●相手にわかりやすく伝わる表現について理解すること。	○話の中の事実と意見を区別し、その事実が意見の根拠として適切か検討し、自分の表現に生かす指導の充実。
	□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同等であるが、やや上回っている。	●文章の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。伝えたい事柄について根拠を明確にして書くこと。	○文章中から根拠を明確にして自分の考えをもち、表現する学習の充実。
	□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同等であるが、やや下回っている。	●文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つこと。	○文章の構成や展開、表現の仕方についての的確に読み取る学習の充実。自分の考えをもつときに、文章中から根拠となる部分を明確に見つける学習の充実。
	□「伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同等であるが、やや下回っている。	●封筒の書き方を理解して書くこと。	○字形を整え、文字の大きさ、配列について理解して書く学習の充実。

	本校の概要【区分および領域】	今回の調査における課題	改善の方向
数学	□「数と式」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●連立方程式を方針に基づいて解くこと。	○連立方程式の解き方を復習し、定着させる指導の充実。
	□「図形」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解すること。	○図形の合同について理解し、論理的に考察する能力を育てる指導の充実
	□「関数」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●関数のグラフを、事象に即して解釈すること。	○グラフから関数関係を見だし、考察する指導の充実。
	□「資料の活用」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○資料の傾向を読み取る力を育てる指導の充実。

	本校の概要【区分および領域】	今回の調査における課題	改善の方向
英語	□「聞くこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、上回っている。	●ある話題についてまとめられた文章を読んで、話の流れや内容を読み取る。	○様々な話題についてまとめられた文章を読み、話の流れや内容を読み取る学習の充実。
	□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、上回っている。	●まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる。	○日常的な話題に関する説明やエッセイ、物語などを読んで話のあらすじを読み取る学習の充実。
	□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均と、ほぼ同程度であるが、上回っている。	●与えられた情報に基づいて、1つの事柄について説明する文章を書く。	○いくつかの情報をまとめて、1つの事柄について説明する文章を書く学習の充実。
	【参考】 □「話すこと」	●基本的な表現を理解して、応答する。 ●与えられたテーマについて考えを整理しまとまりのある内容を話す。	○基本的な表現を理解し、応答する学習の充実。 ○与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す学習の充実。

3 「生活習慣や学習環境等に関する質問調査」結果

○調査結果の中から、主に、本校の3つの「求める生徒像」と特に関連の深い設問を取り上げました。

(1) 自ら学び、より良く問題を解決できる生徒

- ・ 学ぶ意欲を持ち、目標に向かって努力することができる
- ・ 深く考え、より良い判断をすることができる
- ・ 何事にも積極的に取り組み、自分を表現することができる

設問番号	質問事項	抽出の基準	本校 (%)	全国 (%)
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している／どちらかといえばしている	39.0	50.4
18	学校の授業時間以外に、平日、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。	2時間以上	24.6	35.5
37	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	当てはまる／どちらかといえば、当てはまる	70.3	74.8
38	1、2年のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	当てはまる／どちらかといえば、当てはまる	55.1	55.8
32	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	そう思う／どちらかといえば、そう思う	74.5	72.8

☆本校では「学ぶ力のプログラム」(ホームページ掲載)の一環として、家庭学習の定着とサブセット(小集団)を効果的に活用した授業に取り組んでいます。今後も、プログラムの実践を充実させることで求める生徒像に迫っていきたいと考えています。

- ・ 本校では毎日の家庭学習時間を調査しています。5月から10月までの1日の平均時間は1年生66分、2年生78分、3年生84分でした。結果をもとに生徒の意欲を喚起するようなアドバイスを行っていきたいと考えています。

- ・予習を奨励し、記録を取り、集計することで、自分がどの程度頑張っているのかがわかるようにするなど、継続的に家庭学習に取り組めるようにしています。
- ・サブセット（班ごとに目的や役割をはっきりとさせた集団活動）を活用し、対話を通して自分の意見を整理したり、他者の意見を参考にしたりすることで、自分の考えを深めたり、広げたりする授業づくりに取り組んでいます。しかし、まだ不十分な面がみられるので、今後、補助課題や対話の方法を工夫していきたいと考えています。
- ・シラバス（学習計画）や自己評価表を活用して、課題を確認し、意欲的に解決していけるような授業を心がけています。

（２）豊かな人間性と社会性を身につけている生徒

- ・ 礼儀や規律をわきまえ、行動することができる
- ・ 温かい心を持ち、人や自然と接することができる
- ・ 心豊かに、しなやかな感性を磨き合うことができる

設問番号	質問事項	抽出の基準	本校 (%)	全国 (%)
8	将来の夢や目標を持っていますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	76.2	70.5
13	学校の規則を守っていますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	97.5	96.2
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	94.0	94.3

- ・「進路探求学習」等、広く社会に目を向け、自己の将来についても目を向けられるような機会を設け、よりよく生きるために必要なことを学んでいけるような取組の充実を図っていきます。
- ・「挨拶」や「時間のけじめ」、「校内でのルール遵守」を指導の重点におき、委員会活動等を通して、呼びかけや点検活動を継続的に行っています。
- ・校内では「花いっぱい運動」や生活常任委員会主催の清掃ボランティアが実施され、校外では「げんき雪んこまつり」に参加している生徒がいます。今後も、校外のボランティア活動について、奨励、紹介をしていきたいと考えています。

（３）命を愛し、健康でたくましく生きる生徒

- ・ 明朗で、健康な心身を持ちながら鍛え合うことができる
- ・ まわりの人々や社会の幸福・発展のために尽くすことができる
- ・ 生命を尊重し、謙虚で感謝の気持ちを持つことができる

設問番号	質問事項	抽出の基準	本校 (%)	全国 (%)
5	自分には、よいところがあると思いますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	79.7	74.1
15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	94.9	95.1
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	当てはまる／どちらか といえば、当てはまる	40.7	39.4

- ・学級係活動、生徒会活動、行事活動において、生徒一人一人の活躍の場所を作り、自己肯定感をもたせ、自尊感情が育まれるように取り組んでいます。
- ・「いじめ」については、「いじめ防止基本方針」に基づいて、教育相談やアンケートを活用し、予防といじめにつながる問題の解決に取り組んでいます。設問5については、道徳の時間や養護教諭による「保健講話」の他、機会をとらえて「他者を思いやる心」や「命の大切さ」を訴えています。今後もより一層指導の充実を図り、「当てはまる」100%を目指していきます。